

# 太宰府中学校 1 学年だより No.30

R3.3.8 (月)

文責：石橋 眞子

## 職業インタビュー



前回の進路学習では、皆さんが興味のある職業を調べ、レポートを作成しました。

廊下に掲示してあるレポートを、みなさんよく見ていましたね。

今回の進路学習では、先生達が取材した職業の方のインタビュー動画を見て、仕事の内容だけでなく、1日の生活や仕事のやりがいなどを学びました。

今回、取材に応じて下さった方は、次のとおりです。

No.	職業	名前	
1	歯科医	久保 慶朗さん	大野城市で歯科クリニックを経営しています。
2	芸人	村山 新汰さん	よしもとエンターテインメント所属のタレントです。
3	歌手	高田 隆貴さん	シンガーソングライターで、数多くの曲を作曲しています。
4	パティシエ	村上 玲菜さん	ホテル日航福岡でケーキや洋菓子を作っています。
5	美容師	西崎 優樹さん	福岡市にある美容院でアシスタントをしています。
6	消防士	森山 良 さん	春日大野城消防署に勤務している消防士です。
7	TVディレクター	高岡 尚代さん	熊本RKK放送局のディレクター、アナウンサーです。
8	陶芸家	前田 尚子さん	土をこねて器やオブジェを制作している陶芸作家です。
9	営業職	松尾 卓馬さん	日産で車の販売をしているディーラーです。
10	太宰府市副市長	清水 圭輔さん	太宰府市役所にいらっしゃる副市長さんです。

本来でしたら、直接お会いして話をきくのがよいのですが、今回は新型コロナウイルス感染予防のため画面を通しての学習でした。

それでも、皆さんが熱心に動画を見て、メモをとったり、気づいたことをまとめてたりする姿はとてすばらしかったです。「何事にも精一杯頑張る」皆さんの持ち味がよく表れていて、インタビューをした先生達も「仕事のやりがい」を感じました。

後日、それぞれの方に書いたお礼の手紙は、郵送したり、直接渡したりしました。

歯医者さんの久保さんは「今の中学生はこんなにきちんと考えているんですね、皆さんの思いがとても伝わりました。ぜひ、自分の歯を大切にしてくださいね。」と答えていました。

また、消防士の森山さんは、このインタビュー活動を通して、皆さんやご家族が火事や事故などの不幸な出来事に遭わないことを願っていますと話していました。

さらに、TVディレクターの高岡さんからは、日頃みているテレビなどのメディアが皆さんの生活に役立ってほしいこと、そして、ぜひアナウンサーになりたい人がたくさん増えるといいと話していました。

そして、副市長さんからは直接中学校にお礼の電話があり、皆さんの手紙に感銘を受けて、ぜひ太宰府中学校の1年生全員に会いたいと仰っていました。いつかお見えになるかもしれませんね……。

皆さんの素敵な姿が、手紙を通してたくさんの人々に広がりました。

今回の職業調べで学んだ多くの知識や考え方を糧にして、将来皆さんが「素敵な社会人」になることを願っています。



とらんじっと・売れるといいですね

## 数学の習熟度別学習会を行いました



3月5日と8日の総合の時間をつかって、数学の習熟度別学習会を行いました。

これまでの学力テストを分析すると、小学校の頃から数学を苦手としている人が多いことがわかったので、校長先生にも相談して(校長先生は数学の先生です)学習会を行うことにしました。

小学校で学習した分数・小数・百分率・比の計算から、今学習している文字式や方程式、文章題までの内容について、それぞれのつまづきに応じたクラスに分けて、課題プリントを中心に問題を解いたり、友達と教え合ったり、先生に尋ねたりしました。

校長先生もお忙しい中に学習会に参加され、わかりやすく皆さんに教えてくださいました。校長先生が直接教えることはめったにないことです。まさに「有り難い=ありがたい」ことです。

皆さんも、自分のつまづきを克服しようと熱心に課題に取り組んでいましたね。



さて、「習熟度別学習」について、ぜひ皆さんに「伝えたいこと」があります。以前勤めていた学校で習熟度別学習会を始めたとき、ある生徒が「先生、僕は上のクラスですか。下のクラスですか。」と尋ねたことがありました。彼にとっては習熟度は「できる・できない」で差をつけたものと捉えていたようです。

習熟度別学習の目的は、人と比べて「上下をつける」ものではありません。それぞれが違う「苦手なこと」が少しでもできるようにするためのものです。

数学が得意な人もいれば、計算が苦手だったり、分数だけがわからないまま小学校を過ごしてきたりと、課題は人それぞれです。人と比べることは違います。

今回の学習会で、1年生の皆さんから「数学ができるようになった」「割合がわかるようになった」「自信がついた」という声がたくさん聞こえることが、先生達の願いです。



☆後日談：先程の「彼」には、私からきちんと説明したら「先生、すみません。僕はそんなつもりで言ったのではなかったんです。でも言い方がまずかったですよね。気をつけます。」と答えてくれました。

彼は、後に理数科のある高校に進学しました。私も彼と話ができて良かったと思います。

## ☆落語体験活動が行われました☆

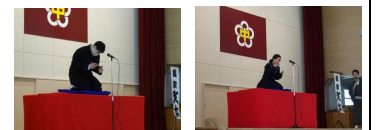
新しくできた体育館の「柿(柿ではありません)落とし」として、「落語体験会」が行われました。北九州市在住の落語家「橘家文太(たちばなや・ぶんた)」さんをお迎えして、日本の伝統芸能のひとつである落語の良さについて語っていただいた後、一席演じていただきました。



生徒代表の体験コーナーでは、柳川さん・楠原さん、井上さんがステージに上がり、そばをすすめるようすを演じました。柳川さんは特に上手だったので、文太さんからごほうびをもらいました。



落語の活動拠点は、大阪と東京にしかないそうです。福岡にいたらめったに見ることがない「落語」に直接触れることができ、本当によかったですね。



☆裏面に橘家文太さんの新聞記事が出ていましたので掲載しています。